

概要

活動地域: 神奈川県小田原市中心市街地
 活動期間: 2014年4月1日～継続中
 活動体制: 工学院大学 学生&卒業生メンバー
 都市デザイン・マネジメント若手専門家
 小田原市役所 自主研究組織メンバー
 ※以上の「三者連携」に加え、地元の活動団体、
 地域関係者との協力で運営しています。



活動キーワード: 中心市街地、Placemaking、
 公共空間

2016年度活動メンバー

M2: 鈴木 俊也 B4: 和田 健 / 山口 雄大 / 酒井 友樹 B3: 藤平 啓太 / 濱 紗友莉 / 渡部 尚

『——小田原のまちに豊かな 暮らしの風景を増やしたい』

活動経緯

小田原市では駅前や中心市街地を中心とし、今後数年の間に完成を目指す三大事業が計画されており、これらの事業が街の核となる「点」であるとすれば、それらをつなぐ「線」や、その集合としての「面」を戦略的に整備していくことで、事業の効果がより高められると考えられる。そのために、三大事業が進められている中心市街地のエリアを中心に様々な課題や資源を洗い出し、それらを解決、活用するための都市デザイン・マネジメントの企画提案をしていく。

活動の軸としては、初年度の調査研究の際に試行した、米 NPO「Project for Public Space」が提唱している『The Power of 10』という考え方や、『Placemaking』という計画理念に基づいており、現在はそれらの調査や計画を基にして検討していったプレイスメイキングプロジェクトを、企画から実施まで継続的に行っている。

活動対象地概要

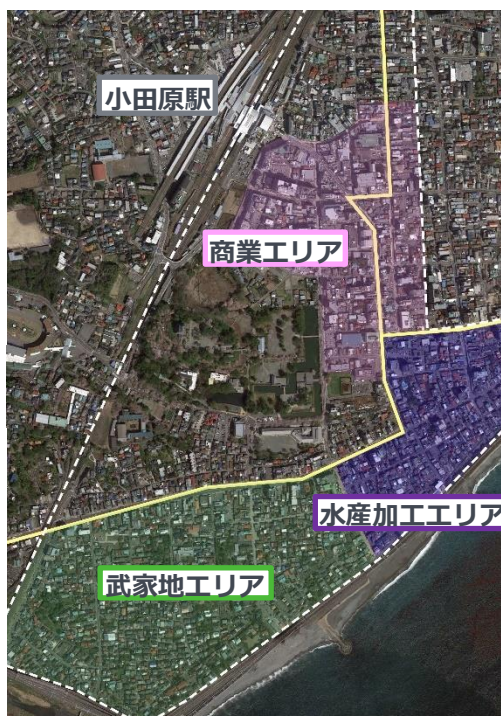
小田原 Lab.の活動は小田原駅の東側に広がる商業エリアから、相模湾まで広がる武家地・水産加工エリアまでを対象としている。

この土地は様々な歴史・文化を継承しており、駅を出てすぐに見える小田原城が持つ氏族の歴史から、名産であるかまぼこなどに関する漁業の歴史、かつての文化人たちが残した伝統工芸や文学の歴史などを有している。

昨年度までの活動内容

2015年度は初年度の調査研究を踏まえ、史跡整備用地活用企画「芝活～空地でできる10のコト～」と、軽トラ市プレイスメイキング企画「-Street Lounge-」というふたつの空間活用企画を実施した。

また、昨年オープンした「おだわら市民交流センター UMECO」や地域関係者・団体との関係性を築くため、プレゼンテーションや報告書作成、ラジオ出演等の手段を用いて広報活動を積極的に行った。



2016年度の活動内容

【企画の継続と地域を巻き込んだ展開】

2016年度は、これまでの企画をブラッシュアップし、より地域を巻き込んだ発展的な活動を行った。活動を継続していく中で、その土地の状況が良い方へと変わっていく様子や、地域関係者の興味関心が高まっていることを強く感じた年であった。

■2016年7月30日(土) 15:00~19:00

「芝活 vol.2 ~もっと知ってもっと使おう!~」

小田原城址公園北側に位置する史跡整備用地である「弁財天曲輪ポケットパーク」にて行った公共空間活用企画。芝生の上にテントやパラソルを設置し、ベンチ・イス・テーブル・ピクニックシートなどで憩いの空間を演出したほか、地元の活動団体の協力を得て「竹細工あそび」や「パネルシアター・絵本の読み聞かせ」の企画も行ったほか、市民活動センターUMECOとの共催企画も行った。



■2016年8月7日(日) 17:00~20:30

「Street Theater -ストリートシアター-」

小田原駅東側の銀座通り商店街で、軽トラ市という交通規制した商店街にキッチンカー並べてマルシェを行う企画と連携し、通りの空き店舗ガレージを道の憩いの映画館として活用した企画。パフォーマーの方々や周辺の飲食店舗と協力し、通りの中央に賑わいのあるお洒落な空間を作り上げた。



■2016年10月29日(土) 12:00~16:00

「芝活 vol.3 -まちの居場所づくり-」

月のはじめに、更地であった隣地に追加で芝生を張る整備を行った「弁財天曲輪ポケットパーク」にて、ハロウィンをモチーフとして行った企画。前回の協力者に加え、地域の店舗を巻き込んでスタンプラリーの企画を行ったほか、UMECOとの共催や「小田原お堀端 万葉の湯」の後援を受け、子どもやその家族をターゲットに絞った企画を行った。屋外で出来る卓球台、都市模型の設置は、参加者からの評判もよかった。



■2016年11月27日(日) 10:00~13:30

「Street Square -ストリートスクエア-」

軽トラ市会場の中央の駐車場スペースを使い、周辺のキッチンカーや飲食販売・雑貨店と連携した企画。人工芝や都市模型。「プレイスメイキングキット」という紙管で作られた可動組み立て式のベンチ・テーブル・屋台のセットを使い、お洒落で居心地の良い空間を演出した。当日は天候が荒れると予想されたが、途中まで雨も降ることなく、無事に開催することができた。



※ 写真は上段から順に「芝活 vol.2 風景:落書きボード/竹細工あそびの様子」、「Street Theaterの様子」、「芝活 vol.3 の全体風景」、「芝活 vol.3 風景:スタンプラリー/UMECO 共催企画」、「芝活 vol.3 の都市模型展示」、「Street Squareの様子」。